



# 「地域医療と国立病院の充実を求める意見書」

## の提出を求める陳情書

平成 24年 11 月 22 日

幕別町議会議長 古川 稔 様

陳情者 幕別町札内中央町320-20

全日本国立医療労働組合(全医労)

帯広病院支部 退職者会 副会長 木田 幸子

国立帯広病院の充実と十勝地域の

医療拡充を求める住民会議 議長 高岩 劭丞

### 【陳情趣旨】

日本の医療は、医師、看護師をはじめとする医療従事者の懸命な努力で支えられてきました。いま医療現場は、長時間・過密労働に加え、医療技術の進歩や医療安全への期待の高まりなどで、看護職員などの労働環境は厳しさを増し、離職者も多く、深刻な人手不足になっています。

看護師など夜勤交替制労働者の労働条件を抜本的に改善し、人手を大幅に増やして、安全・安心の医療・介護を実現する事が大切になっています。医療・社会保障予算を先進国並みに増やし、国民が安心して暮らしていける制度にすることが求められています。

また、公的病院の縮小・閉鎖によって、救急患者の受け入れ先がない等、地域医療が崩壊しかねない事態が全国で生じています。

国立病院は、がん・循環器などの高度医療や研究とともに、重症心身障害、筋ジストロフィー、結核・感染症、精神医療、災害医療、へき地医療など、民間では困難な分野を担い、地域医療においても重要な役割を果たしています。

しかし、国立病院に対しては「非効率」病床の削減、「事業規模の縮小、他の公的病院も含めた再編成の検討」など更なる「経営合理化」を進めようとしています。住民は、いつでも・どこでも・だれでも、安心して医療を受けることができる、地域医療と国立病院の充実を求めています。

以上の趣旨から、医師、看護師等の大幅増員を実現し、地域医療、国立医療、公的医療機関の拡充を図るための対策が講じられるよう、下記事項について政府に対する意見書を提出していただきますよう陳情致します。

### 【陳情項目】

- 1、国立病院を縮小・廃止することなく、充実強化を図ること。
- 2、医師・看護師を欧米諸国並みに増やすこと。
- 3、国立帯広病院を災害時医療の拠点病院として役割が発揮できるよう充実強化すること。

以上

# 地域医療と国立病院の充実を求める意見書（案）

日本の医療は、医師、看護師をはじめとする医療従事者の懸命な努力で支えられてきた。いま医療現場は、長時間・過密労働に加え、医療技術の進歩や医療安全への期待の高まりなどで、看護職員などの労働環境は厳しさを増し、離職者も多く、深刻な人手不足になっている。

看護師など夜勤交替制労働者の労働条件を抜本的に改善し、人手を大幅に増やして、安全・安心の医療・介護を実現する事が大切になっている。医療・社会保障予算を先進国並みに増やし、国民が安心して暮らしていける制度にすることが求められている。

また、公的病院の縮小・閉鎖によって、救急患者の受け入れ先がない等、地域医療が崩壊しかねない事態が全国で生じている。

国立病院は、がん・循環器などの高度医療や研究とともに、重症心身障害、筋ジストロフィー、結核・感染症、精神医療、災害医療、へき地医療など、民間では困難な分野を担い、地域医療においても重要な役割を果たしている。

しかし、国立病院に対しては「非効率」病床の削減、「事業規模の縮小、他の公的病院も含めた再編成の検討」など更なる「経営合理化」を進めようとしているが、住民は、いつでも・どこでも・だれでも、安心して医療を受けることができるよう、地域医療と国立病院の充実を求めている。

以上の趣旨から、医師、看護師等の大幅増員を実現し、地域医療、国立医療、公的医療機関の拡充を図るための対策を講じるよう、下記事項について強く要望する。

## 記

- 1、国立病院を縮小・廃止することなく、充実強化を図ること。
- 2、医師・看護師を欧米諸国並みに増やすこと。
- 3、国立帯広病院を災害時医療の拠点病院として役割が発揮できるよう充実強化すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成24年12月 日

北海道中川郡幕別町議会

## 【提出先】

内閣総理大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣